

都道府県別免疫グロブリン製剤使用量(1床当たりのg数)

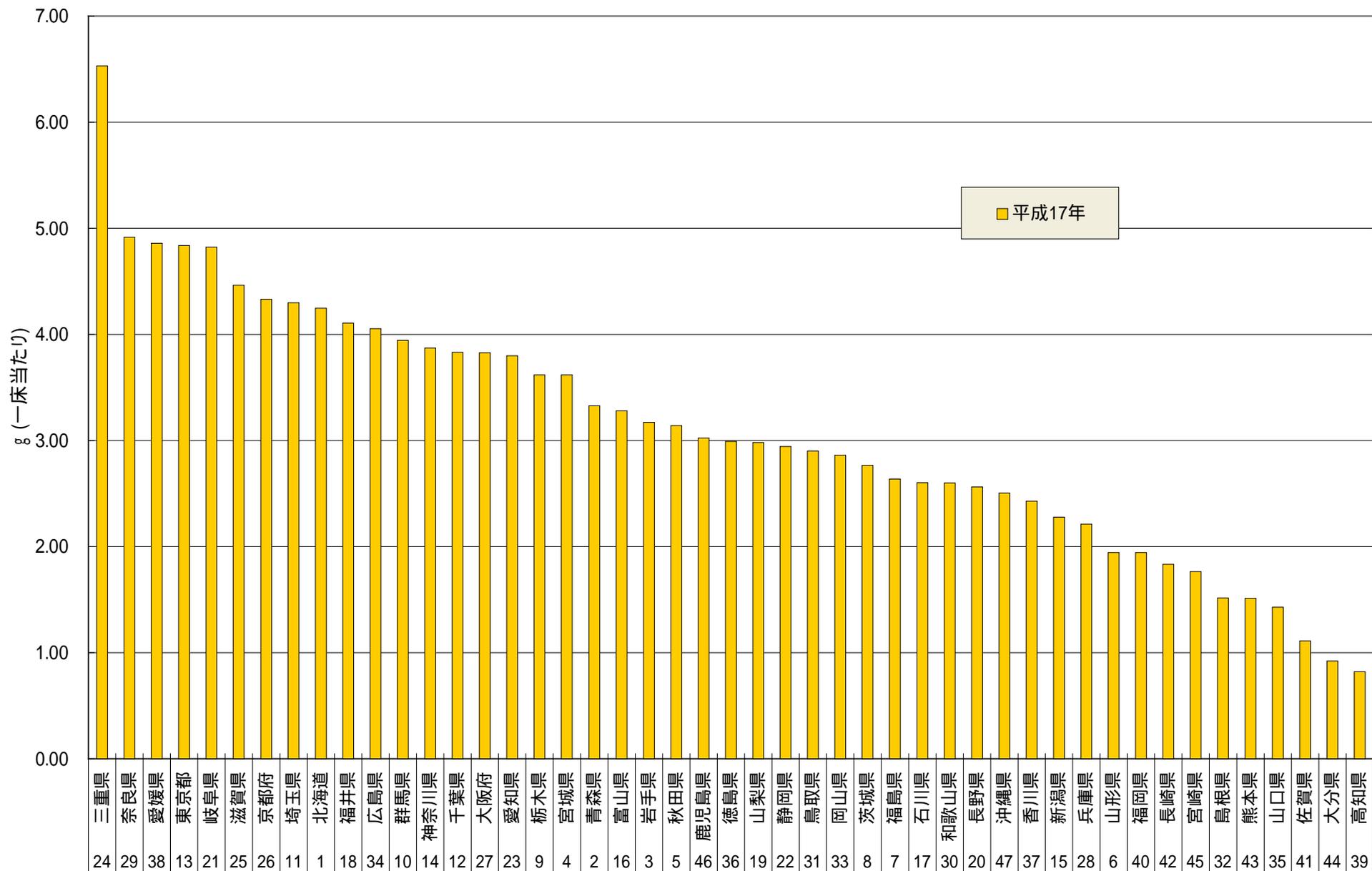
[2005年(平成17年)]

No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量
01	北海道	4.2473	11	埼玉県	4.2979	21	岐阜県	4.8220	31	鳥取県	2.9010	41	佐賀県	1.1109
02	青森県	3.3271	12	千葉県	3.8315	22	静岡県	2.9447	32	島根県	1.5148	42	長崎県	1.8341
03	岩手県	3.1700	13	東京都	4.8379	23	愛知県	3.7996	33	岡山県	2.8620	43	熊本県	1.5136
04	宮城県	3.6189	14	神奈川県	3.8723	24	三重県	6.5298	34	広島県	4.0546	44	大分県	0.9220
05	秋田県	3.1414	15	新潟県	2.2778	25	滋賀県	4.4637	35	山口県	1.4276	45	宮崎県	1.7643
06	山形県	1.9440	16	富山県	3.2799	26	京都府	4.3301	36	徳島県	2.9923	46	鹿児島県	3.0240
07	福島県	2.6353	17	石川県	2.6010	27	大阪府	3.8277	37	香川県	2.4287	47	沖縄県	2.5036
08	茨城県	2.7668	18	福井県	4.1054	28	兵庫県	2.2111	38	愛媛県	4.8596			
09	栃木県	3.6193	19	山梨県	2.9796	29	奈良県	4.9166	39	高知県	0.8206	最大値と最小値の差		
10	群馬県	3.9446	20	長野県	2.5632	30	和歌山県	2.5987	40	福岡県	1.9430			

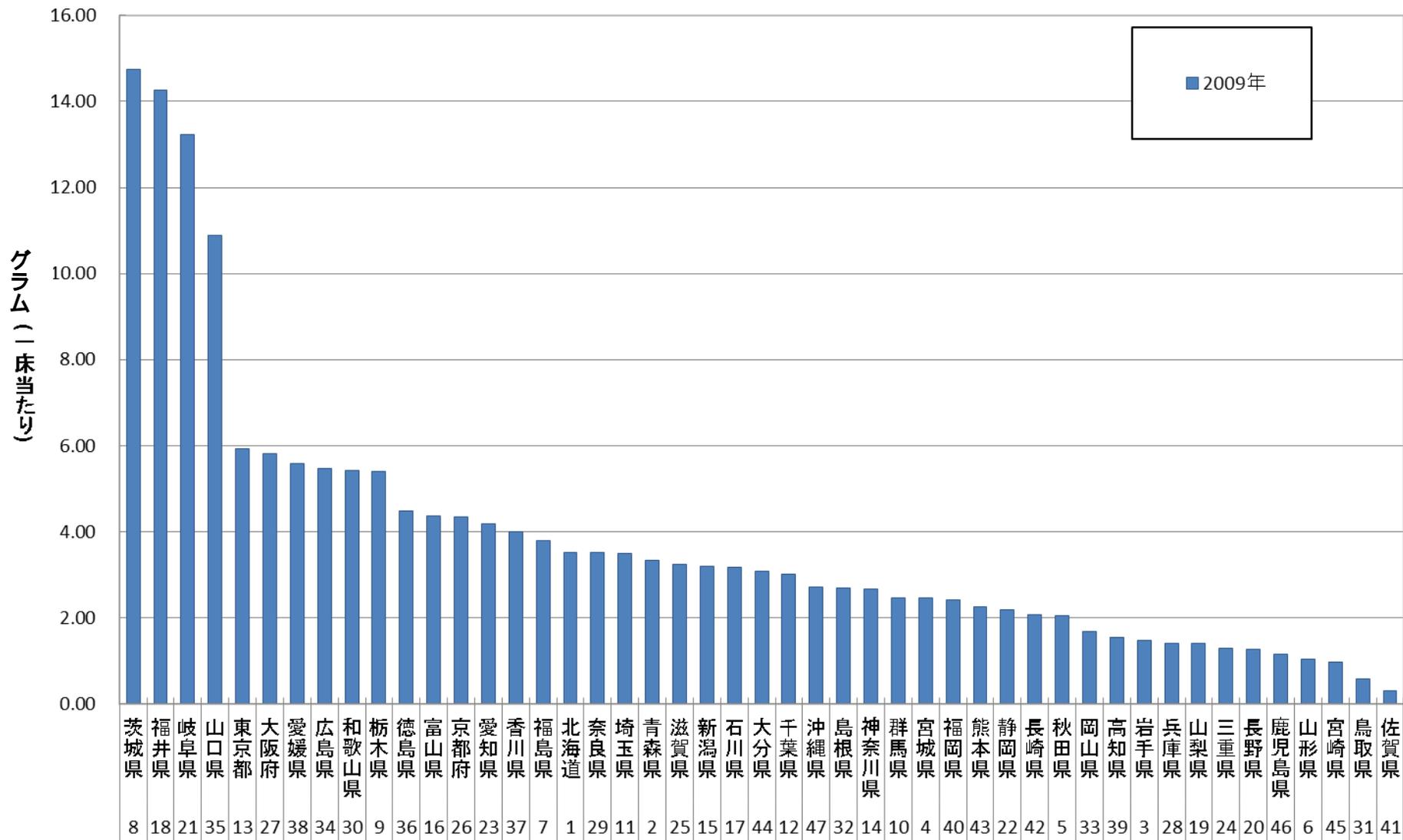
[2009年]

No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量	No	名称	使用量
01	北海道	3.5276	11	埼玉県	3.4980	21	岐阜県	13.2274	31	鳥取県	0.5834	41	佐賀県	0.2942
02	青森県	3.3263	12	千葉県	3.0207	22	静岡県	2.1880	32	島根県	2.7018	42	長崎県	2.0736
03	岩手県	1.4793	13	東京都	5.9327	23	愛知県	4.1744	33	岡山県	1.6924	43	熊本県	2.2592
04	宮城県	2.4555	14	神奈川県	2.6633	24	三重県	1.2891	34	広島県	5.4615	44	大分県	3.0794
05	秋田県	2.0537	15	新潟県	3.1980	25	滋賀県	3.2387	35	山口県	10.8974	45	宮崎県	0.9709
06	山形県	1.0420	16	富山県	4.3777	26	京都府	4.3509	36	徳島県	4.4783	46	鹿児島県	1.1601
07	福島県	3.7880	17	石川県	3.1763	27	大阪府	5.8040	37	香川県	4.0039	47	沖縄県	2.7128
08	茨城県	14.7520	18	福井県	14.2662	28	兵庫県	1.4088	38	愛媛県	5.5857			
09	栃木県	5.4039	19	山梨県	1.3978	29	奈良県	3.5084	39	高知県	1.5429	最大値と最小値の差		
10	群馬県	2.4665	20	長野県	1.2745	30	和歌山県	5.4294	40	福岡県	2.4235			

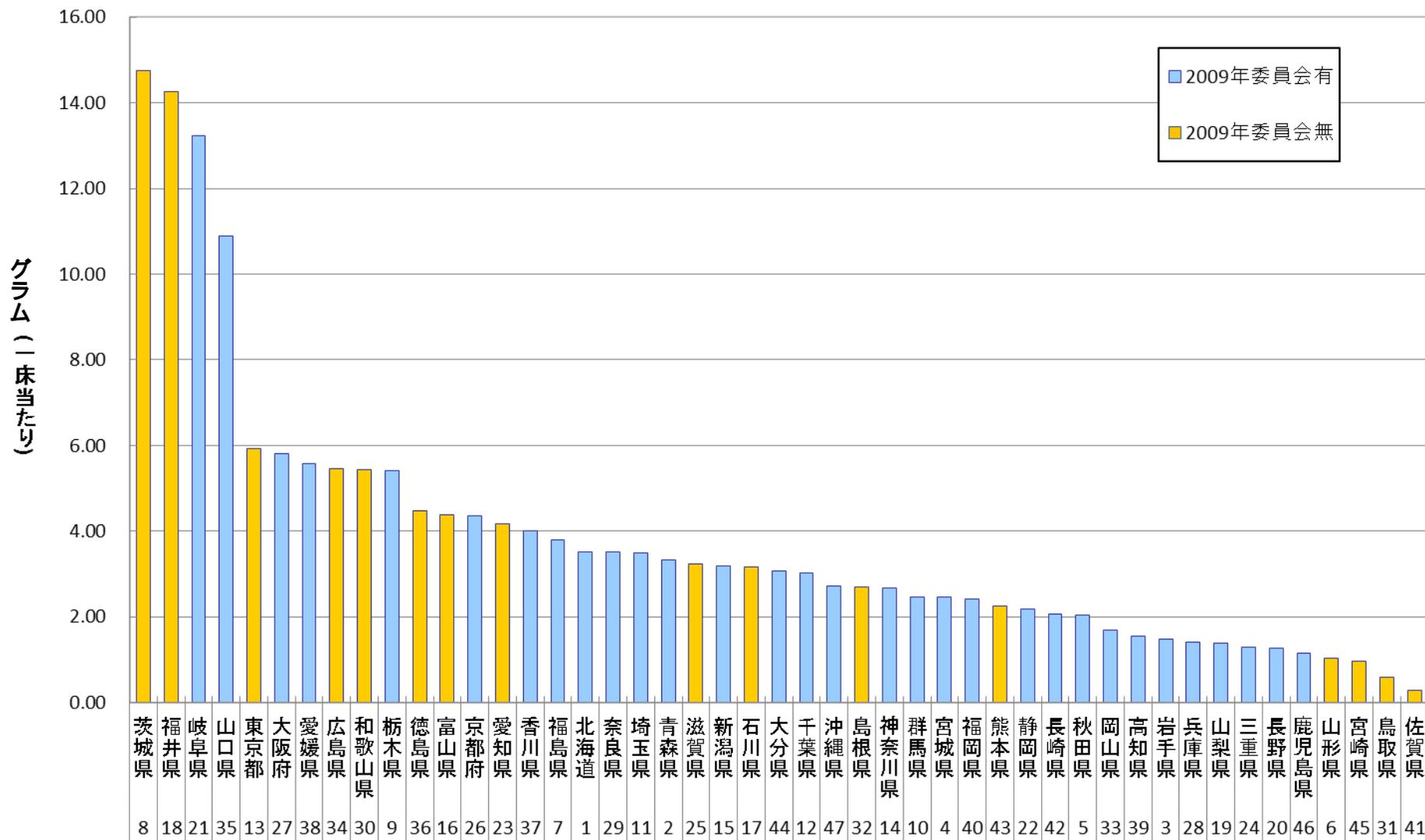
平成17年 免疫グロブリン製剤使用量の多い順



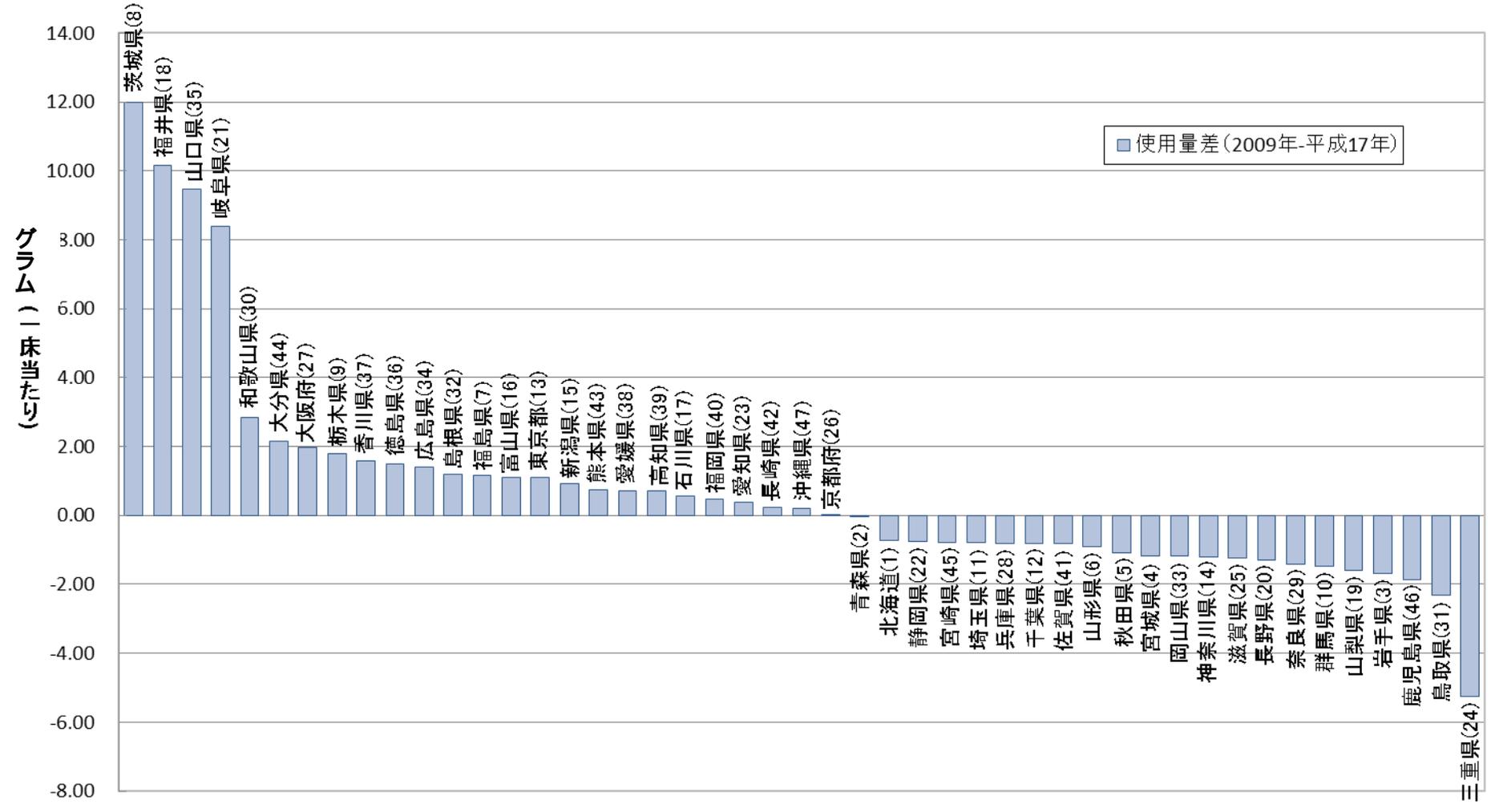
2009年 免疫グロブリン使用量の多い順



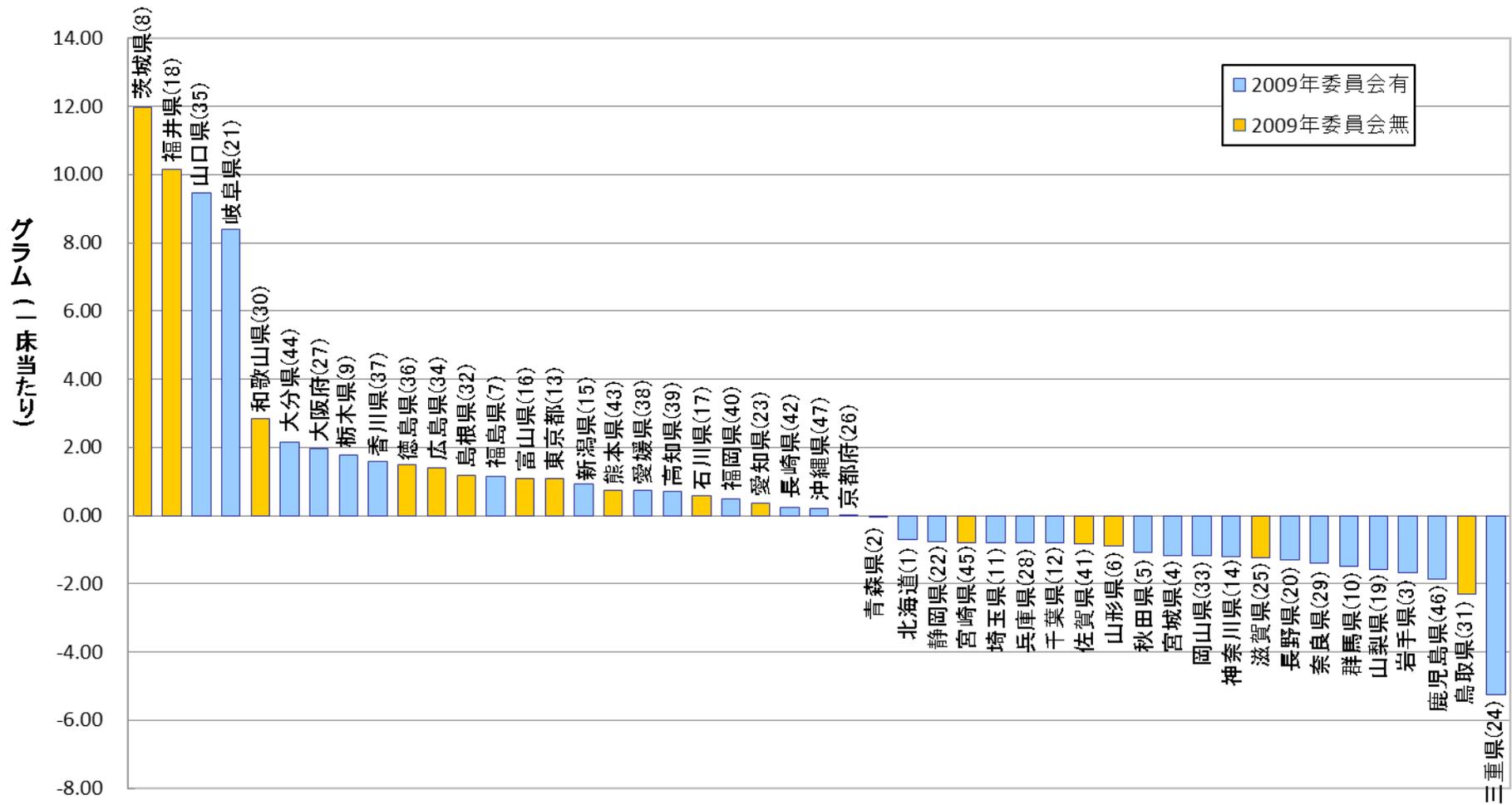
2009年免疫グロブリン使用量の多い順(合同輸血療法委員会の有無・別)



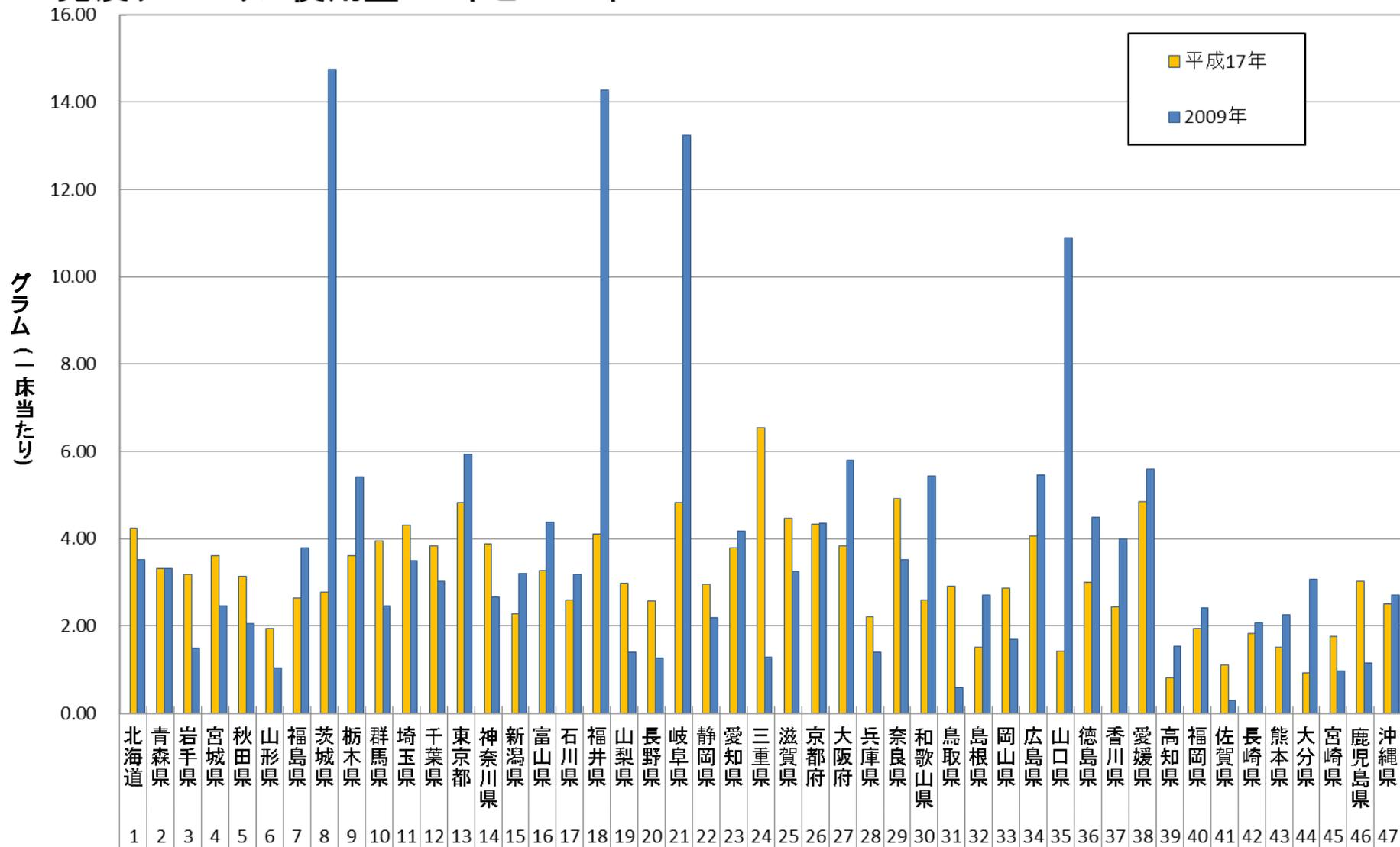
免疫グロブリン使用量 年度比較・増減 17年と2009年



免疫グロブリン製剤使用量 年度比較・増減 17年と2009年(合同輸血療法委員会の有無)



免疫グロブリン使用量 17年と2009年



問1 輸血業務の一元管理の有無

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1474	42.01%	275	70.88%	204	86.08%	1953	47.24%
2	いいえ	2035	57.99%	113	29.12%	33	13.92%	2181	52.76%
	合計	3509		388		237		4134	

【2009年 1-6.輸血検査・輸血用血液を同一部署で一元管理する体制がとられていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	一元管理している	972	67.88%	302	90.42%	222	97.80%	1496	75.06%
2	一元管理できてない	460	32.12%	32	9.58%	5	2.20%	497	24.94%
	合計	1432		334		227		1993	

問1-2 一元管理の有無と赤血球濃厚液の使用量(1床当たりの単位数)との関連

【2005年(平成17年)】

番号	回答	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1	はい	4.2628	6.3593	9.7479	6.7186
2	いいえ	3.0709	4.8583	5.2558	3.5776
	施設数	3509	388	237	4134

【2009年】

番号	回答	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1	一元管理している	4.1005	6.6868	10.5946	5.6651
2	一元管理できてない	3.1529	3.2546	4.8360	3.1788
	施設数	1279	324	222	1825

問1 - 3 一元管理の有無と新鮮凍結血漿の使用量(1床当たりの単位数)との関連

【2005年(平成17年)】

番号	回答	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1	はい	1.5306	3.6338	7.2357	4.0655
2	いいえ	1.0992	2.7309	3.3507	1.5845
	施設数	3509	388	237	4134

【2009年】

番号	回答	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1	一元管理している	1.5783	3.5358	6.7366	3.1469
2	一元管理できてない	1.4795	3.0528	5.7807	1.6874
	施設数	761	302	219	1282

問1 - 4 輸血業務はどの部門で行われていますか？

【2005年(平成17年)】 複数選択

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	輸血部(室)又は検査部(室)	1372	36.52%	101	49.27%	32	50.79%	1505	37.39%
b	薬剤部	1458	38.81%	93	45.37%	26	41.27%	1577	39.18%
c	病棟	674	17.94%	7	3.41%	3	4.76%	684	16.99%
d	手術室	98	2.61%	4	1.95%	1	1.59%	99	2.46%
e	その他	155	4.13%	0	0.00%	1	1.59%	160	3.98%
	回答施設合計	2018		112		33		2163	

【2009年 1-5.輸血業務(製剤管理と輸血検査)の管理部門はどこですか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	47	3.26%	60	18.13%	146	64.32%	253	12.64%
2	検査部門	606	42.00%	194	58.61%	71	31.28%	871	43.53%
3	薬剤部門	119	8.25%	2	0.60%	1	0.44%	122	6.10%
4	検査部門と薬剤部門	582	40.33%	75	22.66%	9	3.96%	666	33.28%
5	その他	89	6.17%	0	0.00%	0	0.00%	89	4.45%
	合計	1443		331		227		2001	

【2009年 1-7.輸血用血液を管理されている部門は】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	51	3.55%	68	20.30%	145	63.60%	264	13.19%
2	検査部門	902	62.73%	235	70.15%	77	33.77%	1214	60.67%
3	薬剤部門	321	22.32%	25	7.46%	5	2.19%	351	17.54%
4	検査部門と薬剤部門	78	5.42%	7	2.09%	1	0.44%	86	4.30%
5	その他	86	5.98%	0	0.00%	0	0.00%	86	4.30%
	合計	1438		335		228		2001	

問2 血漿分画製剤の管理は

【2005年(平成17年)】

複数選択

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	輸血部(室)又は検査部(室)	116	3.05%	6	1.51%	7	2.80%	129	2.90%
b	薬剤部	3247	85.49%	385	96.73%	237	94.80%	3869	87.02%
c	病棟	359	9.45%	3	0.75%	2	0.80%	364	8.19%
d	手術室	34	0.90%	2	0.50%	1	0.40%	37	0.83%
e	その他	42	1.11%	2	0.50%	3	1.20%	47	1.06%
	回答施設合計	3473		390		245		4108	

【2009年2-1.アルブミン製剤を管理している部門は】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	13	0.96%	12	3.65%	45	20.36%	70	3.68%
2	検査部門	50	3.70%	23	6.99%	11	4.98%	84	4.42%
3	薬剤部門	1238	91.70%	275	83.59%	153	69.23%	1666	87.68%
4	検査部門と薬剤部門	26	1.93%	19	5.78%	10	4.52%	55	2.89%
5	その他	23	1.70%	0	0.00%	2	0.90%	25	1.32%
	合計	1350		329		221		1900	

問3 血漿分画製剤のデータは輸血部門と共有していますか

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	826	25.26%	159	42.51%	107	46.72%	1092	28.20%
2	いいえ	2444	74.74%	215	57.49%	122	53.28%	2781	71.80%
	合計	3270		374		229		3873	

【2009年2-2.アルブミン製剤の使用状況を輸血部門が把握していますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	把握している	756	61.21%	257	80.06%	198	90.41%	1211	68.23%
2	把握していない	479	38.79%	64	19.94%	21	9.59%	564	31.77%
	合計	1235		321		219		1775	

問4-1 輸血責任医師の任命について

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1484	41.27%	306	77.86%	215	88.11%	2005	47.37%
2	いいえ	2112	58.73%	87	22.14%	29	11.89%	2228	52.63%
	合計	3596		393		244		4233	

問4-2 輸血責任医師の専任と兼任について

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	専任である	68	4.61%	7	2.32%	57	26.51%	132	6.63%
b	兼任である	1407	95.39%	295	97.68%	158	73.49%	1860	93.37%
	合計	1475		302		215		1992	

【2009年1-8.輸血責任医師(輸血業務担当や責任者として病院等から任命されている医師)はいますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	34	2.36%	24	7.19%	80	35.09%	138	6.90%
2	いる(兼任)	759	52.74%	261	78.14%	137	60.09%	1157	57.82%
3	いない	646	44.89%	49	14.67%	11	4.82%	706	35.28%
	合計	1439		334		228		2001	

問4-4 輸血責任医師は日本輸血学会認定医ですか

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	22	1.57%	17	5.74%	74	35.24%	113	5.92%
b	いいえ	1382	98.43%	279	94.26%	136	64.76%	1797	94.08%
	合計	1404		296		210		1910	

【2009年1-10.輸血責任医師(専任、兼任)は】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が日本輸血・細胞治療学会認定医である	10	1.33%	8	2.97%	69	32.70%	87	7.06%
2	一部の者が認定医である	10	1.33%	6	2.23%	16	7.58%	32	2.60%
3	全員日本輸血・細胞治療学会認定医ではない	733	97.34%	255	94.80%	126	59.72%	1114	90.35%
	合計	753		269		211		1233	

問5-1 輸血担当検査技師について

【2005年(平成17年)】輸血担当技師はいますか

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2197	60.67%	368	92.93%	233	95.49%	2798	65.67%
2	いいえ	1424	39.33%	28	7.07%	11	4.51%	1463	34.33%
	合計	3621		396		244		4261	

問5 - 2 輸血担当技師の専任と兼任について

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	専任である	91	4.16%	107	29.40%	172	73.82%	370	13.29%
b	兼任である	2096	95.84%	257	70.60%	61	26.18%	2414	86.71%
	合計	2187		364		233		2784	

【2009年1-13.輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」は】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	82	6.21%	155	46.41%	188	82.46%	425	22.57%
2	いる(兼任)	940	71.16%	166	49.70%	37	16.23%	1143	60.70%
3	いない	299	22.63%	13	3.89%	3	1.32%	315	16.73%
	合計	1321		334		228		1883	

問5 - 4 認定輸血検査技師ですか？

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	全員が認定技師である	20	0.93%	19	5.23%	14	6.03%	53	1.94%
b	一部の者が認定技師である	98	4.58%	120	33.06%	159	68.53%	377	13.78%
c	全員認定技師ではない	2022	94.49%	224	61.71%	59	25.43%	2305	84.28%
	合計	2140		363		232		2735	

【2009年1-14.「輸血担当技師」は、日本輸血・細胞治療学会認定技師ですか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が認定技師である	11	1.08%	22	6.98%	21	9.33%	54	3.47%
2	一部の者が認定技師である	69	6.80%	110	34.92%	165	73.33%	344	22.12%
3	全員認定技師ではない	935	92.12%	183	58.10%	39	17.33%	1157	74.41%
	合計	1015		315		225		1555	

問5 - 5 専門性を考慮し、技師の人事異動を最小限にする配慮をしていますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1308	65.79%	250	72.05%	164	75.23%	1722	67.45%
b	いいえ	680	34.21%	97	27.95%	54	24.77%	831	32.55%
	合計	1988		347		218		2553	

【2009年1-17.輸血業務の専門性を考慮し、技師の人事異動を最小限にする配慮をしていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	543	45.71%	214	67.08%	154	69.37%	911	52.69%
2	いいえ	645	54.29%	105	32.92%	68	30.63%	818	47.31%
	合計	1188		319		222		1729	

問6 「担当技師」による輸血検査は24時間対応できる体制を取っていますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1932	59.63%	329	84.79%	209	86.36%	2470	63.82%
2	いいえ	1308	40.37%	59	15.21%	33	13.64%	1400	36.18%
	合計	3240		388		242		3870	

【2009年1-34. 夜間・休日の輸血検査を主に担当するのは】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	13	0.92%	5	1.50%	15	6.64%	33	1.68%
2	検査部門の臨床検査技師	1020	72.55%	264	79.28%	91	40.27%	1375	69.97%
3	輸血部門と検査部門合同の臨床検査技師	54	3.84%	46	13.81%	113	50.00%	213	10.84%
4	院内の検査センター技師	32	2.28%	13	3.90%	4	1.77%	49	2.49%
5	院外の検査センター職員	153	10.88%	2	0.60%	0	0.00%	155	7.89%
6	担当医	43	3.06%	1	0.30%	1	0.44%	45	2.29%
7	看護師	26	1.85%	0	0.00%	0	0.00%	26	1.32%
8	その他	65	4.62%	2	0.60%	2	0.88%	69	3.51%
	合計	1406		333		226		1965	

問7 「担当技師」、「責任医師」等の活動について、お伺いします。

問7 - 2 医療機関関係者は「輸血責任医師」および「輸血担当技師」が指摘する輸血医療に関する発言等を尊重するように、院内のコンセンサスの確保に努めていますか。

か

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	2155	73.95%	327	88.38%	196	85.22%	2678	76.21%
b	いいえ	759	26.05%	43	11.62%	34	14.78%	836	23.79%
	合計	2914		370		230		3514	

【2009年1-18.】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	739	63.00%	220	70.29%	187	83.86%	1146	67.06%
2	いいえ	434	37.00%	93	29.71%	36	16.14%	563	32.94%
	合計	1173		313		223		1709	

問7 - 3 「輸血担当技師」が、主治医等からの血液発注量が各種指針に準拠せず、多かった場合等に、「輸血責任医師」及び「輸血療法委員会等委員長」と協議し、その結果を踏まえ、「輸血責任医師」又は「輸血担当技師」が、主治医に対して使用量が多いことを指摘し、双方、十分な協議のもと理解を得た上で改善を促す体制にありますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1226	42.39%	205	54.09%	142	60.17%	1573	44.85%
b	いいえ	1666	57.61%	174	45.91%	94	39.83%	1934	55.15%
	合計	2892		379		236		3507	

【2009年1-19】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	470	39.30%	187	58.81%	154	70.64%	811	46.82%
2	いいえ	726	60.70%	131	41.19%	64	29.36%	921	53.18%
	合計	1196		318		218		1732	

問8-1 院内に「輸血療法委員会等」を設置していますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1516	42.04%	365	92.41%	236	96.33%	2117	49.86%
2	いいえ	2090	57.96%	30	7.59%	9	3.67%	2129	50.14%
	合計	3606		395		245		4246	

【2009年1-50.輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会がありますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	999	70.75%	318	96.66%	223	98.67%	1540	78.29%
2	いいえ	388	27.48%	11	3.34%	3	1.33%	402	20.44%
3	その他	25	1.77%	0	0.00%	0	0.00%	25	1.27%
	合計	1412		329		226		1967	

問8-2 委員長は医療機関管理者又は外科系医師(麻酔科を含む)ですか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1130	77.50%	254	72.57%	141	61.57%	1525	74.86%
b	いいえ	328	22.50%	96	27.43%	88	38.43%	512	25.14%
	合計	1458		350		229		2037	

【2009年1-51.輸血療法委員会等の委員長は医療機関管理者又は外科系医師(麻酔科を含む)ですか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	767	68.79%	236	73.98%	138	61.88%	1141	68.86%
2	いいえ	348	31.21%	83	26.02%	85	38.12%	516	31.14%
	合計	1115		319		223		1657	

問8-3 委員会に、輸血が必要な症例の多い診療科の責任者を参画させていますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1183	83.49%	316	90.80%	215	95.98%	1714	86.17%
b	いいえ	234	16.51%	32	9.20%	9	4.02%	275	13.83%
	合計	1417		348		224		1989	

【2009年1-52.輸血療法委員会等の委員会に、輸血が必要な症例の多い診療科の責任者を参画させていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	806	73.54%	281	88.64%	219	96.90%	1306	79.68%
2	いいえ	290	26.46%	36	11.36%	7	3.10%	333	20.32%
	合計	1096		317		226		1639	

問9 「輸血療法委員会等」の開催頻度はどの程度ですか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	定期的(毎週)	5	0.63%	0	0.00%	0	0.00%	5	0.43%
b	定期的(毎月)	294	37.22%	64	27.95%	27	18.37%	385	33.02%
c	定期的(年3～4回)	299	37.85%	115	50.22%	101	68.71%	515	44.17%
d	定期的(年1～2回)	192	24.30%	50	21.83%	19	12.93%	261	22.38%
e	不定期	507	38.15%	67	20.62%	31	15.05%	605	32.53%
	合計	1297		296		178		1771	

【2009年1-53. 輸血療法委員会の2009年(1月～12月)の年間開催回数】

回数	0～299床	300～499床	500床以上	全体
0回	96	9		105
1回	77	10	2	89
2回	75	12	7	94
3回	51	10	5	66
4回	69	22	8	99
5回	24	9	4	37
6回	379	190	153	722
7回	11	9	5	25
8回	13	6	4	23
9回	8	5	2	15
10回	17	6	6	29
11回	21	9	16	46
12回	224	23	11	258
13回	1			1
14回	1			1
施設数	1067	320	223	1610

問10 「輸血療法委員会等」として、以下の項目で実施しているものに全て を付けて下さい。

〔2005年(平成17年)〕

複数選択項目

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	816	30.77%	245	36.73%	172	34.19%	1233	32.26%
2	貴施設の管理者の指示のもと、毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	265	9.99%	76	11.39%	49	9.74%	390	10.20%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、「血液製剤の平均的使用量について」(平成16年12月27日付け薬食発第1227001号各都道府県知事あて厚生労働省医薬食品局長通知)を活用するなどして、他医療機関と比較検討及び評価している。	406	15.31%	135	20.24%	114	22.66%	655	17.14%
4	各種指針*の遵守状況について、各科から報告・検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会又は「採血時の欧州滞在歴に関する問診の強化及び血液製剤の適正使用の推進について」(2005年(平成17年)4月21日付け薬食発第0421003号(社)日本医師会長等あて厚生労働省医薬食品局長通知)における別紙連絡先に照会している。	62	2.34%	22	3.30%	18	3.58%	102	2.67%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	518	19.53%	90	13.49%	73	14.51%	681	17.82%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	585	22.06%	99	14.84%	77	15.31%	761	19.91%
	回答施設合計	1406		322		209		1937	

【2009年1-55.輸血療法委員会で実施している項目は】

複数回答

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	635	65.46%	269	85.67%	199	89.24%	1103	73.19%
2	毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	206	21.24%	82	26.11%	59	26.46%	347	23.03%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、他医療機関と比較検討及び評価している。	210	21.65%	106	33.76%	98	43.95%	414	27.47%
4	各種指針の遵守状況について、各科から報告・検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会等に照会している。	75	7.73%	32	10.19%	36	16.14%	143	9.49%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	295	30.41%	100	31.85%	100	44.84%	495	32.85%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	160	16.49%	84	26.75%	74	33.18%	318	21.10%
7	輸血検査（血液型、不規則抗体、交差適合試験等）の方法について、輸血の安全性を高めるために適宜見直している。	421	43.40%	161	51.27%	122	54.71%	704	46.72%
8	輸血実施時の手順について、マニュアル通りに実施されているかどうかを監査している。	379	39.07%	106	33.76%	88	39.46%	573	38.02%
9	輸血療法に伴う事故・副作用等について、各部署毎の状況を把握して具体的対策を講じている。	443	45.67%	169	53.82%	153	68.61%	765	50.76%
10	輸血関連情報の伝達について、個々の医療従事者へ直接伝達する方法がある。	450	46.39%	152	48.41%	128	57.40%	730	48.44%
11	自己血輸血の実施方法について、成分採血やフィブリン糊の導入を検討したことがある。	30	3.09%	21	6.69%	44	19.73%	95	6.30%
12	輸血療法委員会議事録の院内への周知について、特に医師に周知されたことを確認している。	288	29.69%	83	26.43%	59	26.46%	430	28.53%
	回答施設合計	970		314		223		1507	

問11 血液製剤による副作用（輸血感染症を含む）の報告体制について、該当するもの全てに を付けて下さい。

【2005年(平成17年)】

複数選択項目

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内、日赤血液センター、厚生労働省のいずれへの報告体制もない。	454	8.09%	14	1.68%	2	0.34%	470	6.67%
2	病院内の報告体制はある。	2754	49.08%	352	42.21%	225	37.69%	3331	47.30%
3	日赤血液センターへの報告体制はある。	1696	30.23%	311	37.29%	226	37.86%	2233	31.71%
4	厚生労働省への報告体制はある。	707	12.60%	157	18.82%	144	24.12%	1008	14.31%
	回答施設合計	3500		393		243		4136	

【2009年1-47.輸血用血液による副作用の報告システムについて】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	74	5.34%	93	28.44%	160	70.80%	327	16.86%
2	薬剤部門に報告する体制	122	8.80%	12	3.67%	2	0.88%	136	7.01%
3	検査部門に報告する体制	436	31.43%	164	50.15%	50	22.12%	650	33.51%
4	輸血療法委員会に報告する体制	305	21.99%	32	9.79%	12	5.31%	349	17.99%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	136	9.81%	5	1.53%	1	0.44%	142	7.32%
6	主治医がカルテに記載するのみ	203	14.64%	8	2.45%	1	0.44%	212	10.93%
7	副作用の報告体制がない	87	6.27%	6	1.83%	0	0.00%	93	4.79%
8	その他	24	1.73%	7	2.14%	0	0.00%	31	1.60%
	合計	1387		327		226		1940	

【2009年1-48.輸血副作用発生症例を血液センターへ報告されていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	268	20.24%	29	8.92%	6	2.67%	303	16.17%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	176	13.29%	110	33.85%	87	38.67%	373	19.90%
3	通常はセンターへ報告していない	625	47.21%	166	51.08%	122	54.22%	913	48.72%
	合計	1324		325		225		1874	

【2009年1-49.血漿分画製剤による副作用の報告システムについて】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	45	3.43%	25	8.12%	32	15.02%	102	5.57%
2	薬剤部門に報告する体制	376	28.68%	158	51.30%	119	55.87%	653	35.64%
3	検査部門に報告する体制	154	11.75%	32	10.39%	10	4.69%	196	10.70%
4	輸血療法委員会に報告する体制	247	18.84%	25	8.12%	7	3.29%	279	15.23%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	123	9.38%	8	2.60%	6	2.82%	137	7.48%
6	主治医がカルテに記載するのみ	201	15.33%	19	6.17%	4	1.88%	224	12.23%
7	副作用の報告体制がない	121	9.23%	30	9.74%	21	9.86%	172	9.39%
8	その他	44	3.36%	11	3.57%	14	6.57%	69	3.77%
	合計	1311		308		213		1832	

問12 輸血感染症の疑いのある症例について、過去の輸血例も含めて、血液製剤による健康被害の防止の観点から、日本赤十字社又は厚生労働省へ報告していますか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	336	9.37%	127	32.40%	142	57.96%	605	14.33%
2	いいえ	124	3.46%	8	2.04%	3	1.22%	135	3.20%
3	今まで該当する症例がなかった	3125	87.17%	257	65.56%	100	40.82%	3482	82.47%
	合計	3585		392		245		4222	

【2009年1-102.改正薬事法では特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生した場合、医療施設は厚生労働省に報告する義務があることが記載されていますが、このことに取り組んでいますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取り組んでいる	848	66.41%	261	81.56%	193	88.94%	1302	71.78%
2	取り組んでいない	178	13.94%	24	7.50%	9	4.15%	211	11.63%
3	現在検討中である	251	19.66%	35	10.94%	15	6.91%	301	16.59%
	合計	1277		320		217		1814	

問 1 3 血液製剤の適正使用に関する、病院としての取組について該当するのはどれですか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	2424	67.84%	146	37.24%	71	28.98%	2641	62.73%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	325	9.10%	28	7.14%	15	6.12%	368	8.74%
3	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	824	23.06%	218	55.61%	159	64.90%	1201	28.53%
	合計	3573		392		245		4210	

【2009年1-57. 輸血製剤の適正使用に関する、病院としての取り組みは】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	584	42.66%	215	65.95%	186	83.78%	985	51.38%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	69	5.04%	17	5.21%	10	4.50%	96	5.01%
3	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	716	52.30%	94	28.83%	26	11.71%	836	43.61%
	合計	1369		326		222		1917	

【2009年1-58. 輸血製剤の適正使用を浸透させるために行った具体的な取り組みは】 複数回答

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	マニュアルの配布	894	77.60%	249	82.18%	187	84.62%	1330	79.36%
2	輸血前・後の評価システム導入	98	8.51%	23	7.59%	18	8.14%	139	8.29%
3	アンケート実施	34	2.95%	20	6.60%	23	10.41%	77	4.59%
4	院内使用指針の改定	418	36.28%	128	42.24%	100	45.25%	646	38.54%
5	輸血療法委員会の回数増加	134	11.63%	61	20.13%	49	22.17%	244	14.56%
6	血漿分画製剤の輸血部門への移管	29	2.52%	29	9.57%	48	21.72%	106	6.32%
7	専任の輸血責任医師の任命	47	4.08%	45	14.85%	68	30.77%	160	9.55%
8	専任の輸血担当技師の任命	36	3.13%	55	18.15%	76	34.39%	167	9.96%
9	医療保険委員会への参加	26	2.26%	8	2.64%	10	4.52%	44	2.63%
10	その他	109	9.46%	30	9.90%	29	13.12%	168	10.02%
	回答施設合計	1152		303		221		1676	

問14 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び「薬事法」に基づく医療関係者の責務について、【2009年該当項目無し】

問15 2005年(平成17年)の厚生労働省通知「血液製剤の使用指針・輸血療法の実施に関する指針」(以下「指針」)の遵守体制について、該当するものはどれですか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	「指針」の遵守は、個々の医師に任せており、輸血関連部門への配布はしていない。	837	23.54%	28	7.20%	9	3.69%	874	20.87%
2	輸血関連部門に「指針」を配布しているが、院内に周知していない。	667	18.76%	64	16.45%	25	10.25%	756	18.05%
3	院内の医師、看護師に「指針」を配布し周知しているがマニュアルはない。全くしていない	999	28.10%	80	20.57%	63	25.82%	1142	27.27%
4	「指針」を院内に周知し、院内の輸血療法マニュアルに反映させて実施している。	1052	29.59%	217	55.78%	147	60.25%	1416	33.81%
	合計	3555		389		244		4188	

【2009年1-103.血液法と改正薬事法の理念および上記の「輸血療法の実施に関する指針と血液製剤の使用指針」について、輸血療法委員会を通じて院内に周知していますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	内容を含め十分周知している	462	35.93%	176	55.35%	157	71.69%	795	43.61%
2	内容まで十分知らせていない	605	47.05%	126	39.62%	53	24.20%	784	43.01%
3	全くしていない	131	10.19%	7	2.20%	2	0.91%	140	7.68%
4	その他	88	6.84%	9	2.83%	7	3.20%	104	5.70%
	合計	1286		318		219		1823	

問16 指針」によれば、「（輸血後肝炎について）、早期治療を図るため、医師が感染リスクを考慮し、感染が疑われる場合などには、輸血前後の肝炎ウイルス関連マーカーの検査等を行う必要がある」とされていますが、この指針の条件に該当する患者に対する検査の実施状況について、該当するものはどれですか。

【2005年(平成17年)】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほとんど行っていない。	471	13.25%	53	13.70%	26	10.74%	550	13.14%
2	一部は行っている。	997	28.04%	200	51.68%	140	57.85%	1337	31.95%
3	ほぼ全ての患者に対して行っている。	768	21.60%	80	20.67%	60	24.79%	908	21.70%
4	該当する症例なし。	1320	37.12%	54	13.95%	16	6.61%	1390	33.21%
	合計	3556		387		242		4185	

【2009年1-27.遡及調査のガイドラインに沿って輸血前感染症検査を行っていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として独立して、原則として全ての症例で行っている	281	20.29%	67	20.36%	61	26.87%	409	21.07%
2	輸血前検査として独立して、症例によって行っている	83	5.99%	25	7.60%	23	10.13%	131	6.75%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	835	60.29%	202	61.40%	124	54.63%	1161	59.81%
4	行っていない	186	13.43%	35	10.64%	19	8.37%	240	12.36%
	合計	1385		329		227		1941	

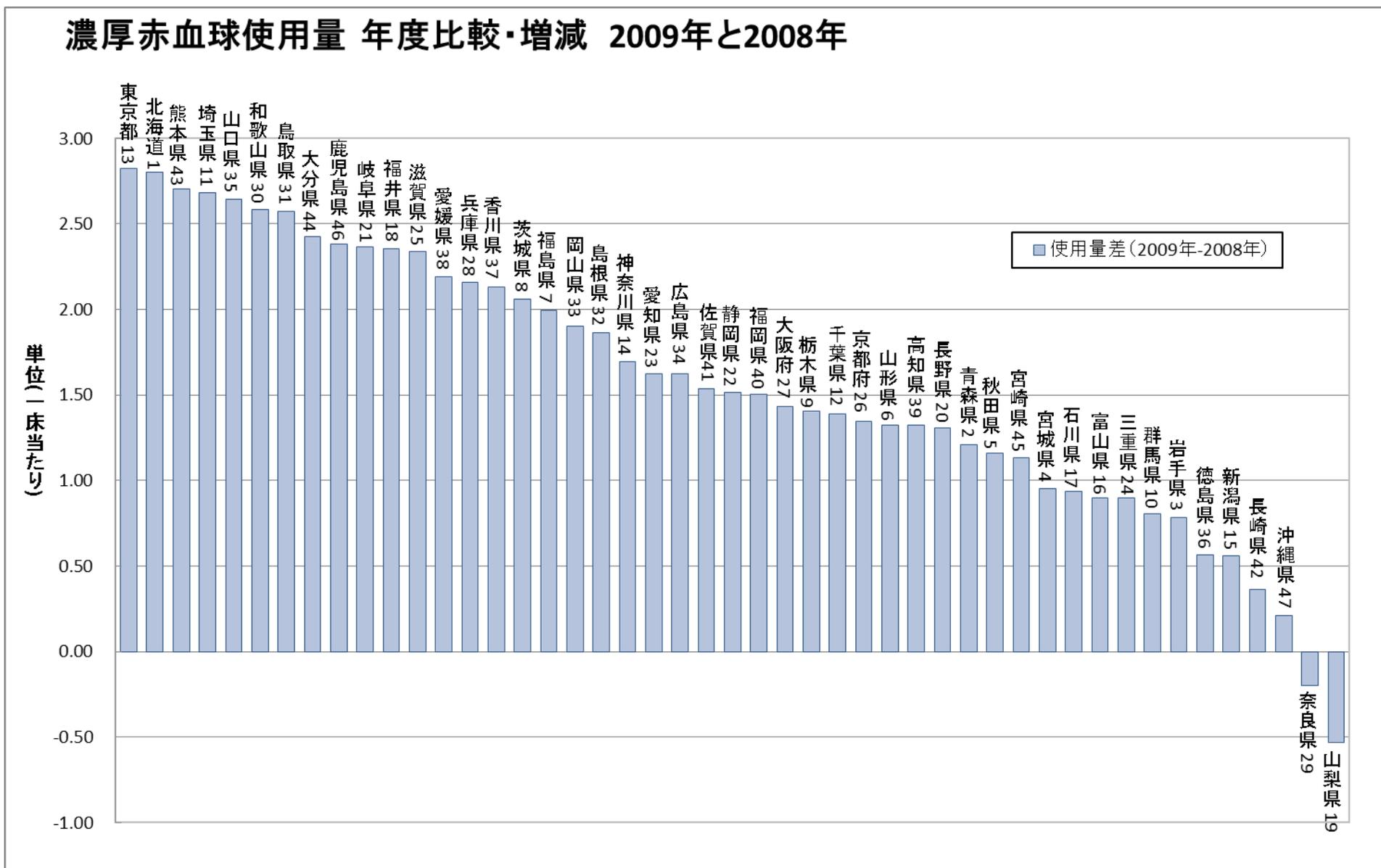
【2009年1-28.遡及調査のガイドラインに沿って輸血後感染症検査を行なっていますか】

番号	項目	0～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	346	25.72%	102	31.97%	89	39.38%	537	28.41%
2	症例によって行っている	613	45.58%	157	49.22%	114	50.44%	884	46.77%
3	行っていない	386	28.70%	60	18.81%	23	10.18%	469	24.81%
	合計	1345		319		226		1890	

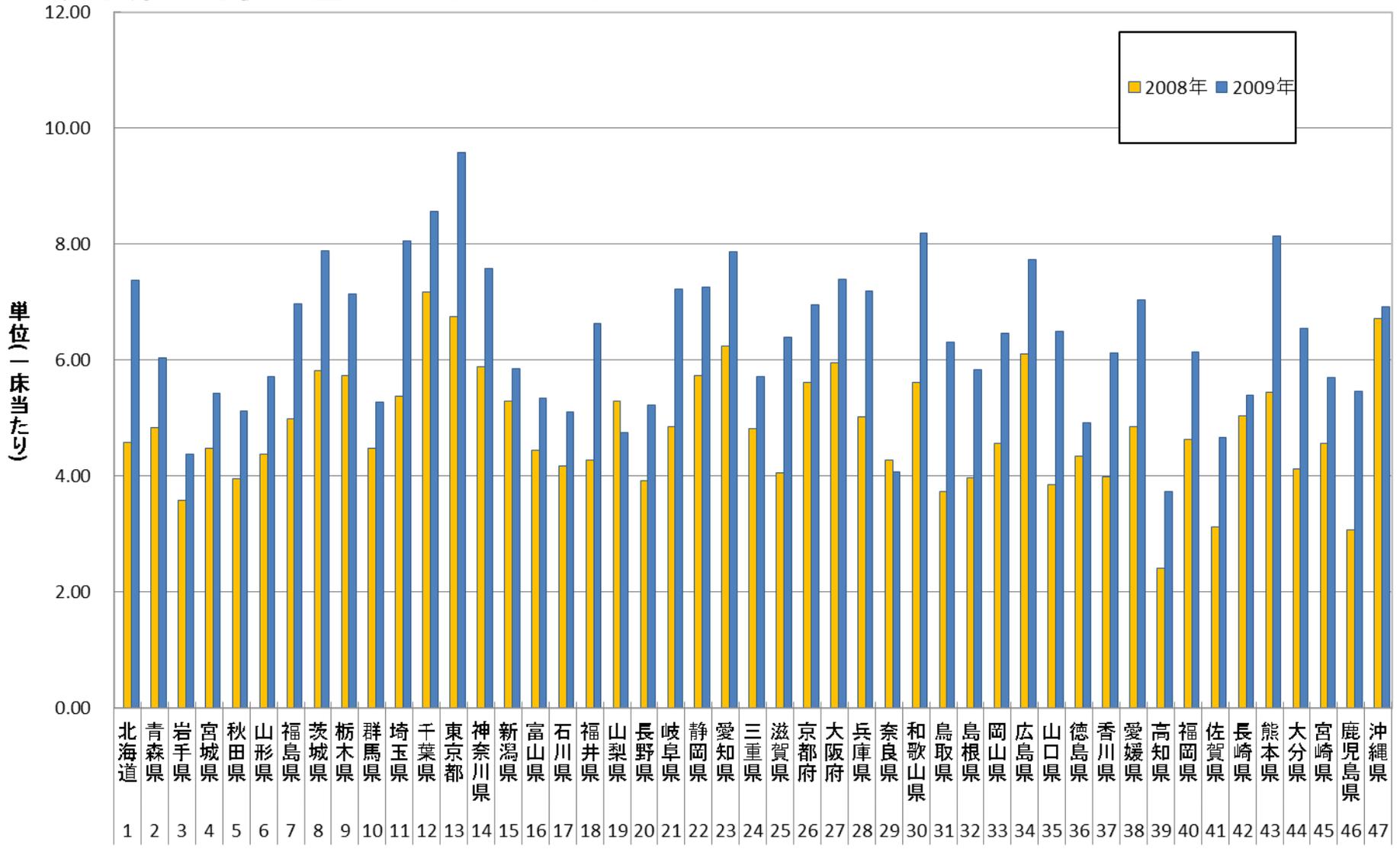
問17 厚生労働省通知「血液製剤の平均的使用量について」（平成16年12月27日付薬食発第1227001号各都道府県知事あて厚生労働省医薬食品局長通知、以下「通知」）について、医療機関管理者にお伺いします。【2009年該当項目無し】

問18 厚生労働省通知「血液製剤の適正使用推進に係る先進事例等調査結果及び具体的強化方策の提示等について」（2005年（平成17年）6月6日付各都道府県衛生主管部（局）長あて厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知）を知っていますか。（医療機関管理者にお伺いします。）【2009年該当項目無し】

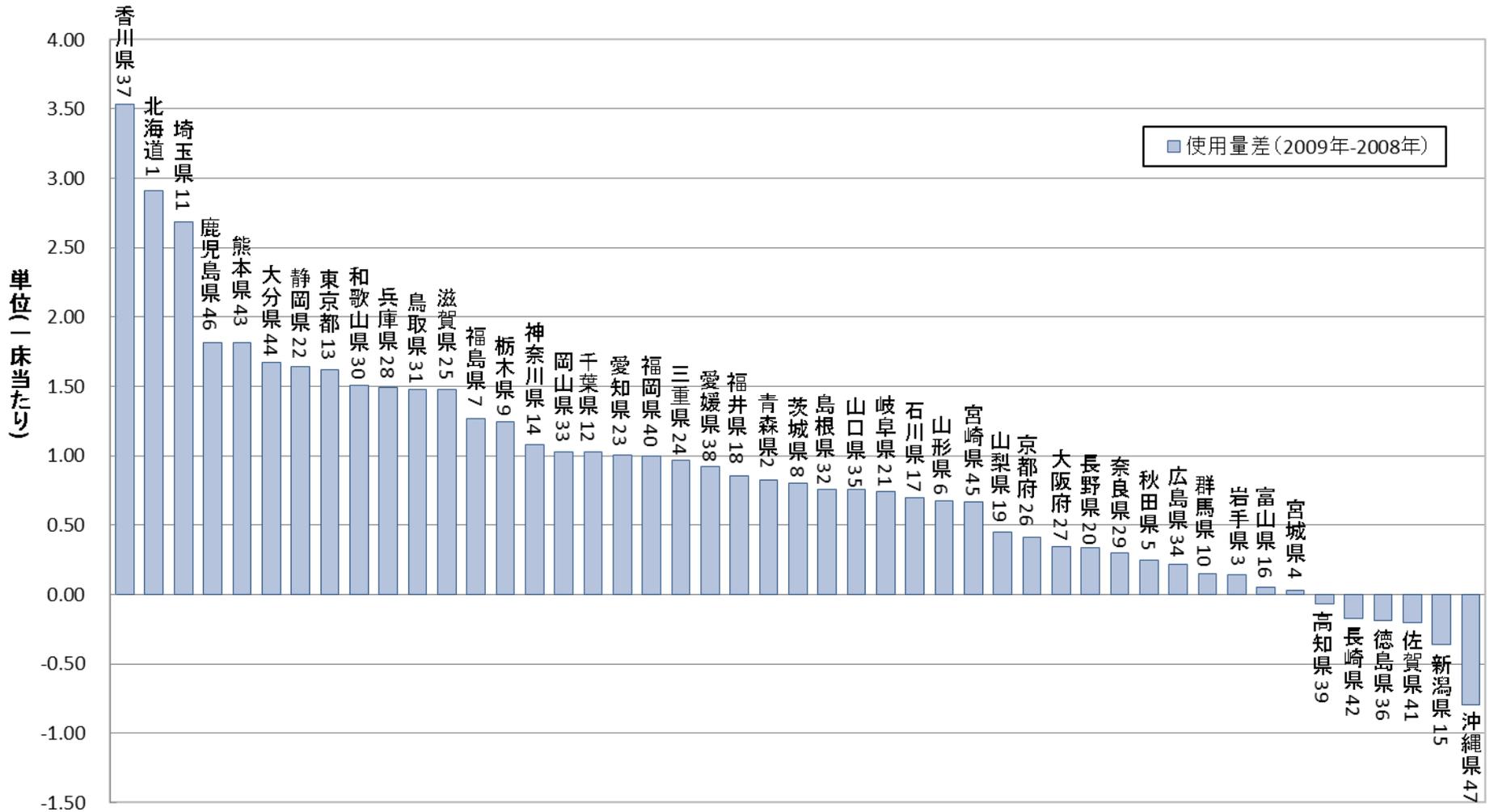
【参考資料】



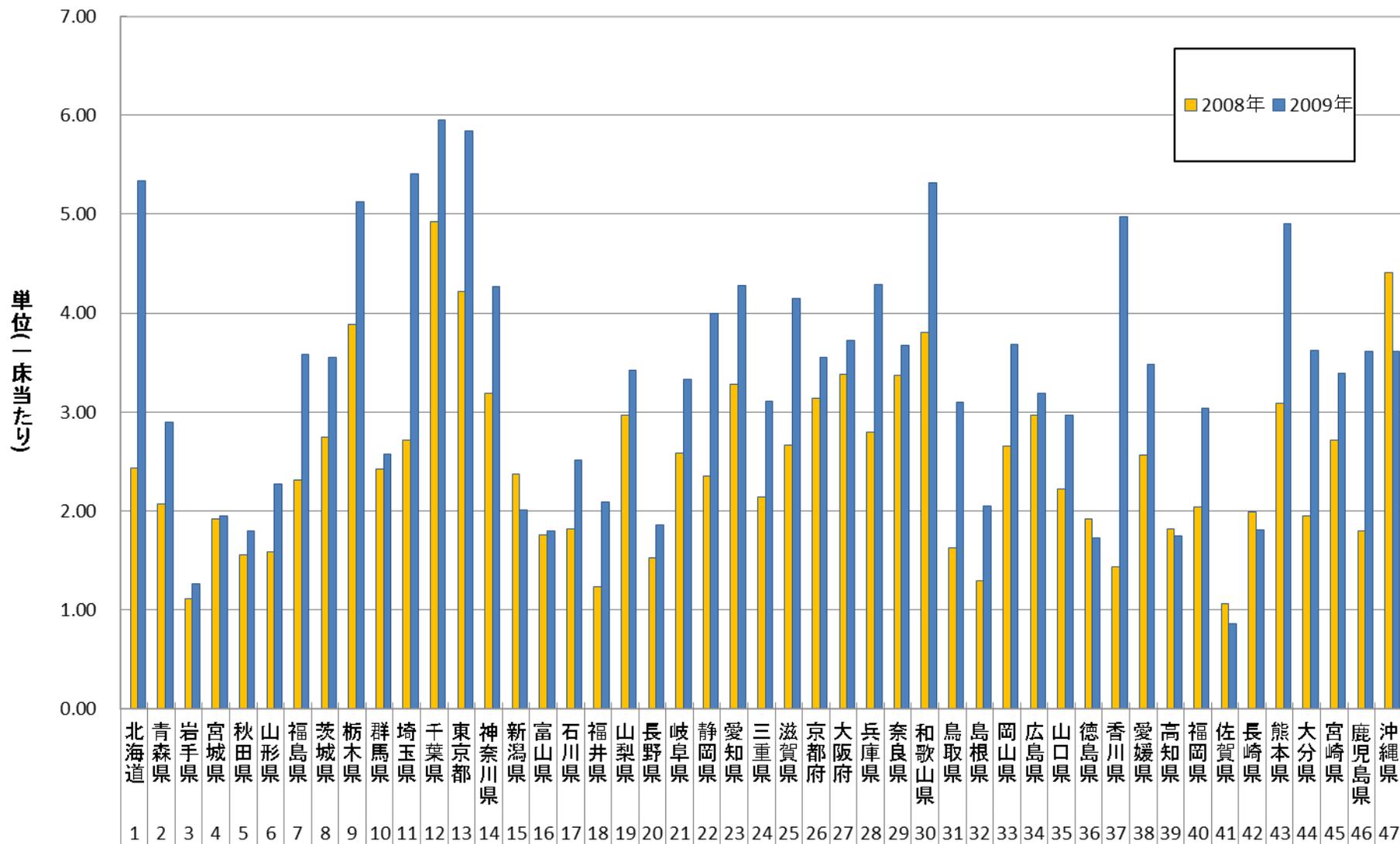
濃厚赤血球使用量 2008年と2009年



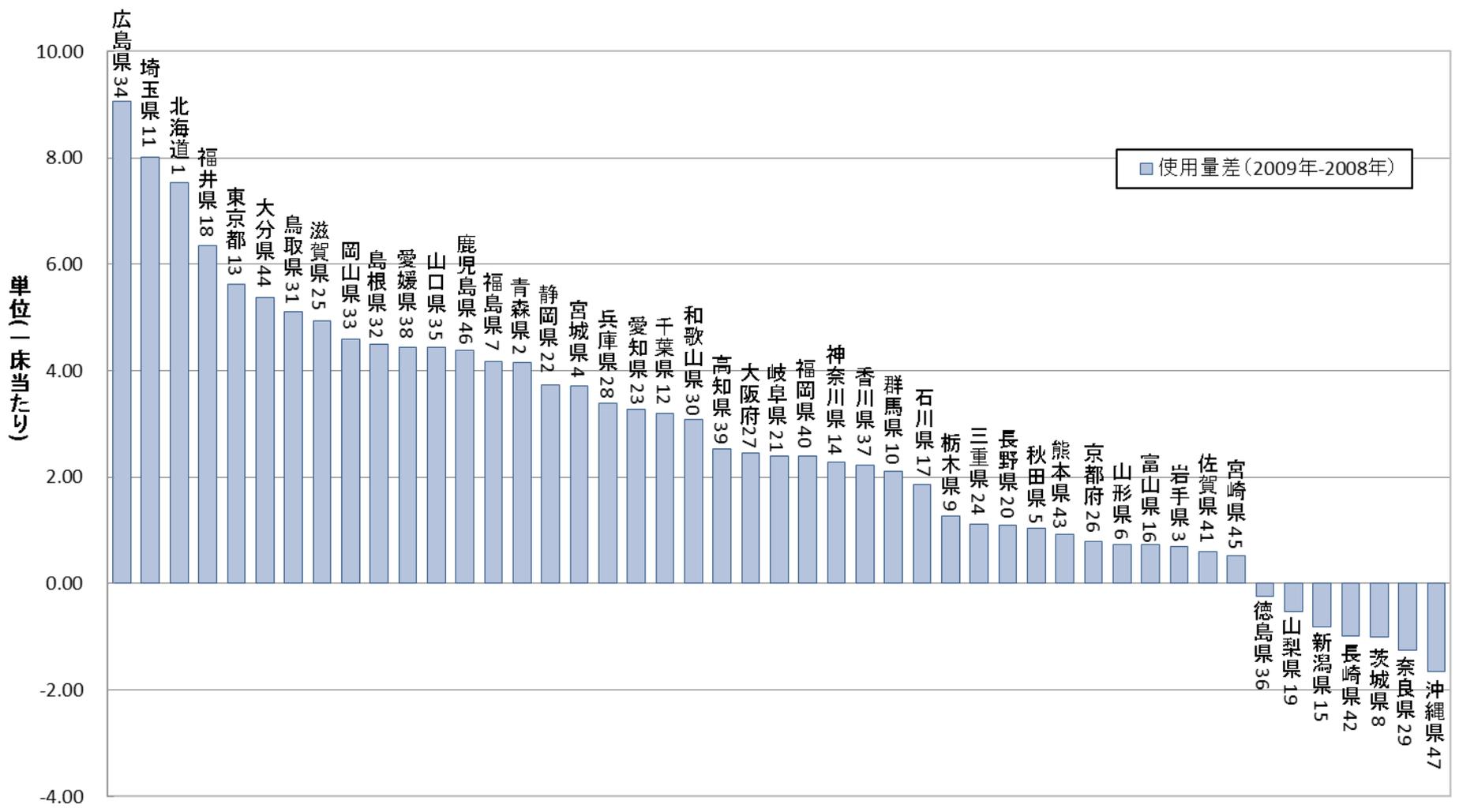
新鮮凍結血漿使用量 年度比較・増減 2009年と2008年



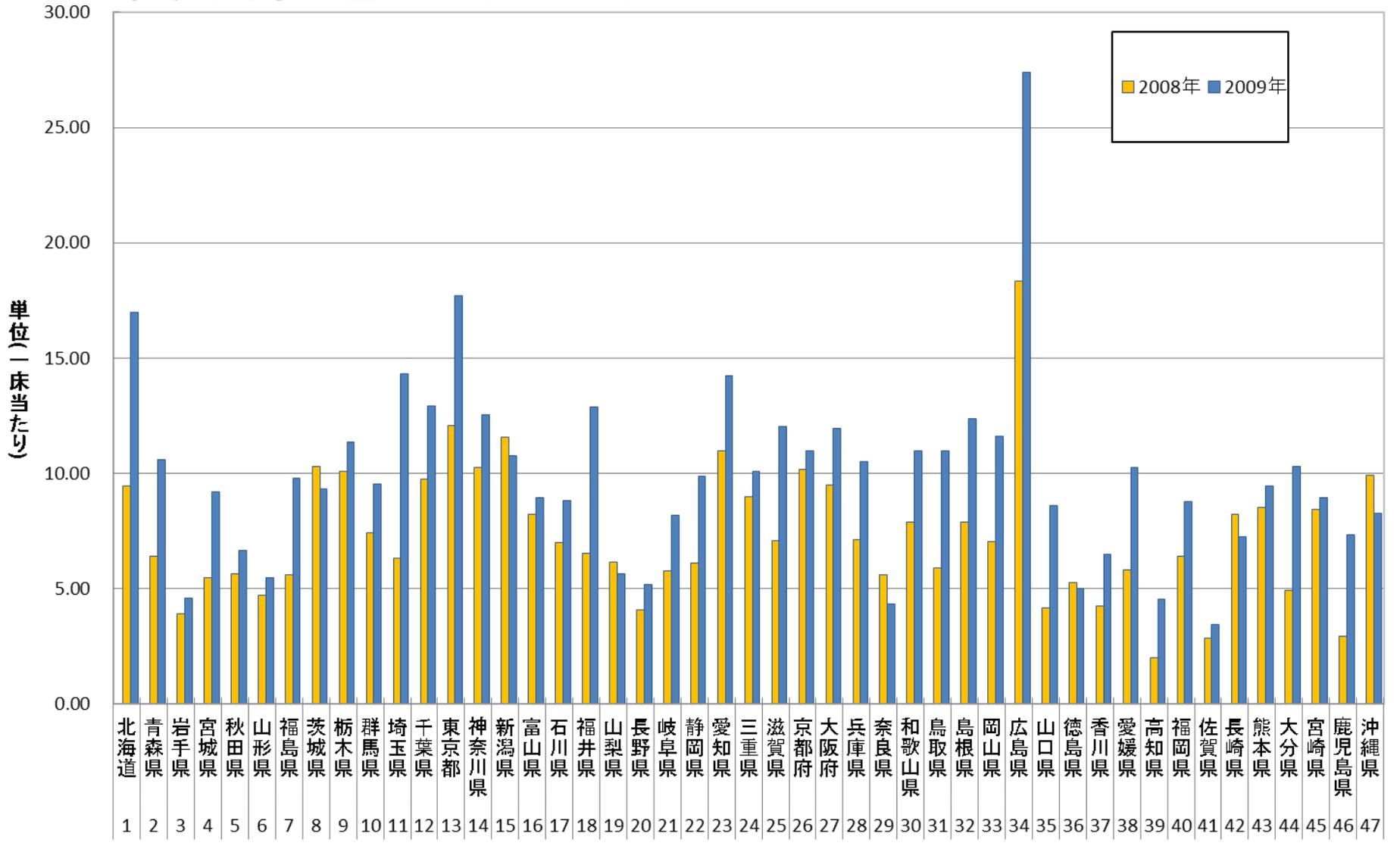
新鮮凍結血漿使用量 2008年と2009年



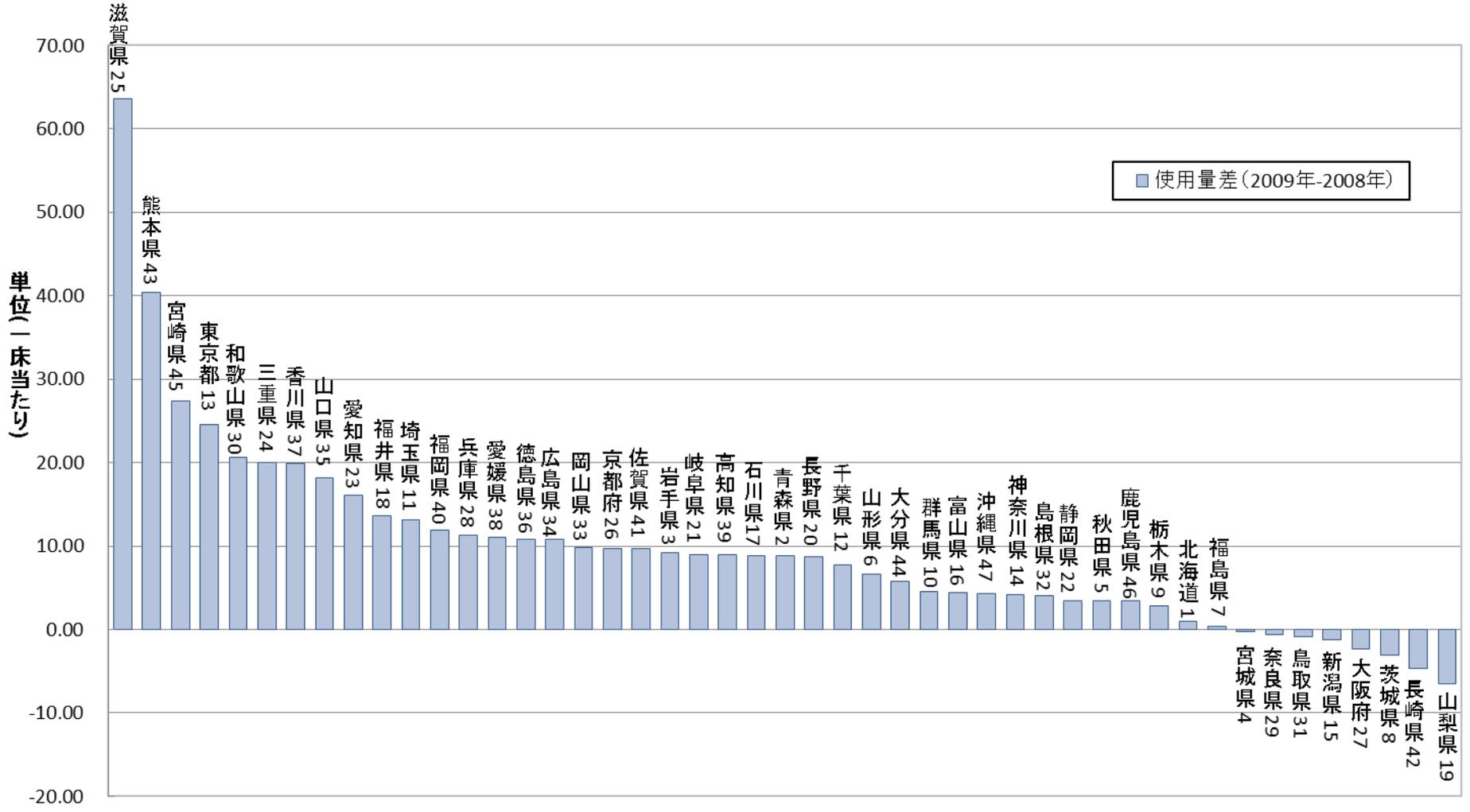
血小板濃厚液使用量 年度比較・増減 2009年と2008年



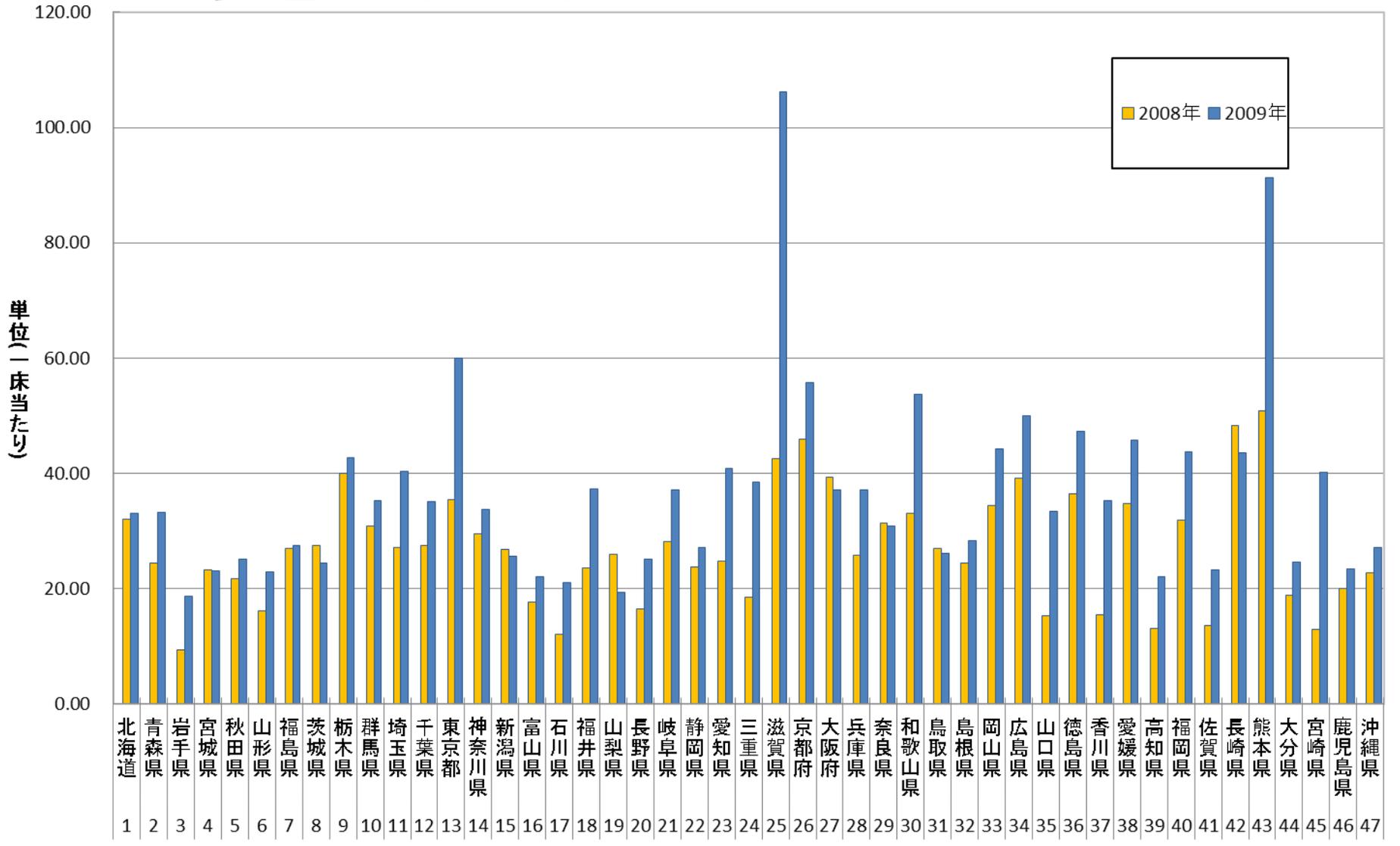
血小板濃厚液使用量 2008年と2009年



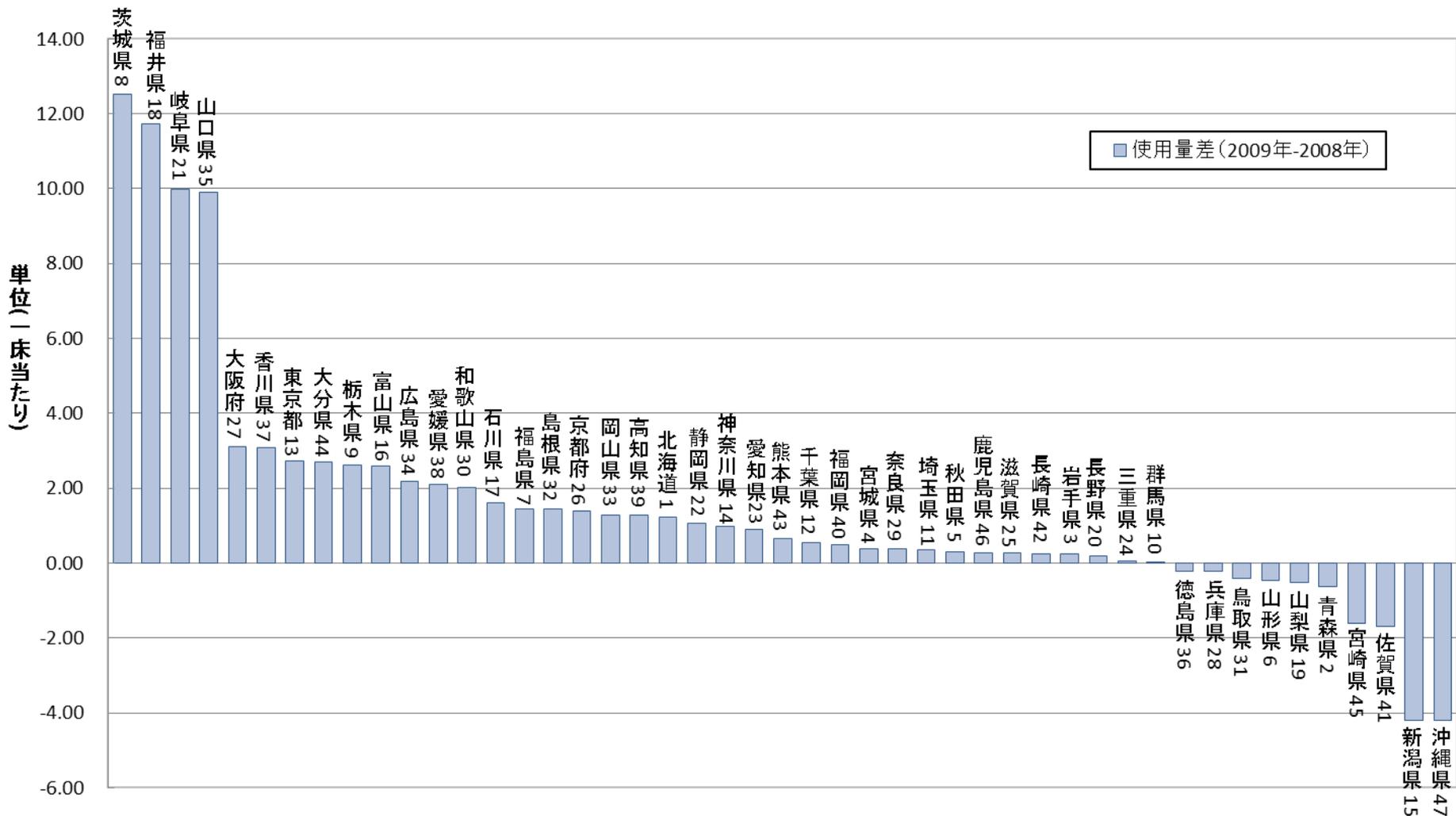
アルブミン使用量 年度比較・増減 2009年と2008年



アルブミン使用量 2008年と2009年



免疫グロブリン使用量 年度比較・増減 2009年と2008年



免疫グロブリン使用量 2008年と2009年

